United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

平成２７年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２７年４月～平成２８年３月

１．学校概要

学校名　宮城県気仙沼市立大島小学校

種　別　☐保育園・幼稚園　☑小学校　☐小中一貫教育
☐中学校　☐中高一貫教育　☐高等学校
☐教員養成　☐技術/職業教育
☐特別支援学校　☐その他（　　）

所在地　〒　９８８　－０６１３
宮城県気仙沼市高井４０－２

E-mail　osim-s13@ark.ocn.ne.jp

Website

児童生徒数　男子　２２　名　女子　３５　名　合計　５７　名
児童・生徒の年齢　６歳～　１２歳

２．実施活動（複数選択可）

☐　地球規模の問題に対する国連システムの理解
☐　国際理解
☐　世界遺産
☐　平和・人権
☑　環境
☐　気候変動
☐　生物多様性
☐　エネルギー
☐　防災
☐　食育
☐　伝統文化
☐　そのほか（　　）

３．活動内容

①１，２年生（生活科）

学校近くにある「ふれあい広場」や「くぐなり農園」で，自然観察や虫捕り，野菜の栽培など，四季の変化や自然のすばらしさを感じ取らせる活動を行った。栽培活動では，地域の方を講師に，植え付けの仕方などを教えていただいた。

②３年生（総合的な学習の時間）

「大島の自然の豊かさを生かして」

島内の浜に生息している生物を採取した。その後，採取したものを観察し，図鑑などで調べてまとめた。また，大島の特産品である北限の「ユズ」と，大島で震災後に始めた「復興ソバ」に関する活動も並行して行った。主に，ユズ畑の観察・収穫体験・出荷に関わる作業体験・調べ学習・発表と復興ソバに関する講話・種まき・収穫・ソバ打ち体験・発表を行った。ユズやソバの活動では，ユズ農家の方や復興ソバの取組の関係者の方々から，講話や作業の指導をいただいた。

③４年生（総合的な学習の時間）

「大島の海の豊かさを生かして」

島内の浜に生息している生物を採取して，図鑑などで調べてまとめた。その後，その知識をもとに，漁協青年部の指導のもと，大島の特産品である「ワカメ」の養殖について調べ，ワカメの種ばさみ体験，ワカメの収穫，ワカメの調理，まとめ，発表を行った。並行して，大島小学校の自慢，大島小学校の総合的な学習の時間の取組，大島の特産品を紹介するための調べ活動を行い，テレビ会議システムにて，他校と交流した。

④５年生（総合的な学習，理科，社会）

「人と人とがつながる大島に」

大島の特産品である「カキ」の養殖についての歴史を学び，カキ養殖場の見学や養殖の餌になるもの（プランクトン）の採取・まとめ・発表を行った。カキに関する活動では，大島で初めてカキの養殖を始めた方のご子孫である方を講師に，講話や見学のお世話をしていただいた。並行して，３年生と共にソバの種まき・収穫・ソバ打ち体験を行い，ソバ文化研究家の方や復興ソバの取組の関係者から，指導をいただいた。

⑤６年生（総合的な学習）

「大島の海とともに」

大島の養殖業の現状について調べ，大島の特産品である「ホタテ」の養殖体験「ホタテの耳つり」「背はだき」，「ホタテの収穫」を漁協青年部の方に協力をいただきながら行った。その後，養殖されているホタテに関する調査をしたり，体験を振り返ったりして，大島の海の環境について，自分たちがどのようにかかわっていくべきか話し合い，大島の町づくりに関連したテーマで考えをまとめた。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

☑ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
☐ 時間外活動の時間を使用
☐ ユネスコクラブの活動として実施
☐ その他（　　）